

6. 主な報道発表 (2020年11月2日以降)

詳細な内容は当社ホームページ <http://www.japc.co.jp> をご覧ください。



◀こちらから当社ホームページをご覧ください

11/17	当社社員の新型コロナウイルス感染について 当社は、11月16日に、立地・地域共生部（敦賀）に勤務する当社社員1名が、新型コロナウイルスに感染していることを確認しました。 当該社員は、発熱および咳の症状があったことから、病院でPCR検査を受検したものです。 なお、当該社員は、現在、福井県内の医療機関に入院中ですが、現在は発熱などの症状はありません。至近2週間以内における原子力発電所への入構実績はありません。 当社としては、当該社員が11月13日まで立地・地域共生部（敦賀）で勤務していた実績を踏まえ、当該社員が勤務を行っていた場所の消毒を行うとともに、発熱などを確認した11月14日から2週間前まで遡り、行動履歴を確認し、当該社員と一緒に業務に従事していた当社社員2名について、自宅待機の措置をとっています。この2名についても、至近2週間以内における原子力発電所への入構実績はありません。 福井県の皆さまをはじめ、関係する皆さまにご心配をおかけし、お詫び申し上げます。 当社では、これまで新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止対策を実施しており、発電所の運営に影響はありません。引き続き、感染拡大防止に努めてまいります。
-------	---

開催のお知らせ

出張 げんでんふれあいギャラリー

敦賀発電所 50 年「敦賀発電所の歩み」写真展 安全を守り 地域とともにこれからも

敦賀発電所は、1号機が日本初の商業用軽水炉として1970年3月14日に営業運転を開始し、今年3月に50年を迎えました。これまで長年にわたってご支援をいただいている地域をはじめとした多くの皆さまに感謝申し上げます。

50年を迎えた節目に、以下のとおり企画展を開催します。お気軽にお立ち寄りください。



1968年（昭和43年）
敦賀発電所1号機
建設が進む原子炉建屋・
タービン建屋

「敦賀発電所の歩み」写真展

開催期間：12月10日（木）～15日（火）

展示時間：10時～17時

（初日 10日 13時～17時

最終日 15日 10時～16時）

場 所：敦賀駅交流施設「オルパーク」2階 多目的室

展示内容：1号機建設前の敦賀半島の風景、
1,2号機建設工事状況などの写真パネル展示 など



げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ

◆第13回 越前大自慢写真コンテスト入賞作品展

2020年12月15日（火）～2020年12月20日（日）

一般社団法人越前町観光連盟主催の写真コンテスト入賞作品展です。歴史や文化・伝統、人々の営み、そして四季折々の素晴らしい風景など、越前町の魅力を表現した作品25点を展示予定です。

◆2020 福井県小・中学生科学アカデミー賞優秀作品 敦賀展

2020年12月22日（火）～2021年1月10日（日）

今年で27回目を迎える福井県内の小・中学生の理科研究を審査する科学アカデミー賞（主催：福井新聞社）に寄せられた作品の中から、上位入賞した研究作品約20点を展示予定です。

2021年度のギャラリー展示利用申込みの受付を行います

受付期間：2021年1月18日（月）～24日（日）10:00～16:30

詳細は下記までお問合せください。

お問合せ

げんでんふれあいギャラリー

フリーダイヤル 0120-749-201

開館時間 10:00～16:30※

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。

<http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/index.html>

敦賀市本町2丁目9-16

FAX 0770-25-5603

休館日 12月29日～1月3日



感染防止徹底宣言ステッカーを
取得しています

◀こちらから げんでんふれあいギャラリーの
ホームページをご覧ください

本資料の作成元・お問合せ先：日本原子力発電株式会社（略称：げんでん）敦賀事業本部 立地・地域共生部

TEL: 0770-25-5713 住所：敦賀市本町2-9-16



敦賀発電所 50 年 安全を守り 地域とともにこれからも

げんでん いんぷおめーしょん 12月号

2020年12月1日

No.196

当社は、11月16日に、立地・地域共生部（敦賀）に勤務する当社社員1名が、新型コロナウイルスに感染していることを確認しました。

福井県の皆さまをはじめ、関係する皆さまにご迷惑、ご心配をおかけし、お詫び申し上げます。

当社では、これまで新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止対策を実施しており、発電所の運営に影響はありません。引き続き、感染拡大防止に努めてまいります。

1. 敦賀発電所の状況 (2020年12月1日現在)

プラント（炉型）	状 況
1号機（沸騰水型） 	●2017年5月15日より廃止措置工事实施中（廃止措置期間：24年） ○2015年4月 営業運転終了 ○水素・酸素発生装置（水電解装置）解体工事（2020年7月1日～） 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2号機（加圧水型） 	電気出力 116.0万kW, 1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量 1922億9908.3万kWh ●2011年8月29日～ 第18回定期検査中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 ○2015年11月5日に新規規制基準への適合性確認審査のための申請を行い、現在審査対応中です。対応状況は、以下をご覧ください。
= 敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について =	
原子力規制委員会による審査は、敷地内破砕帯評価と地震動評価（地震の揺れ）の二つの論点について並行して進められています。	
本年2月7日の審査会合（12回目）で、敷地内破砕帯評価に関して、発電所敷地北側にある断層（K断層）と2号機原子炉建屋直下にある破砕帯との関連性について当社から説明いたしました。説明後、原子力規制委員会から、当社が提示していた審査資料であるボーリング柱状図の記事欄に関してご指摘※をいただきました。	
※：破砕帯の特徴をとりまとめているデータ集（ボーリング柱状図）の一部のデータにおいて、当初記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し、詳細データである顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみを記載している箇所があることについて、肉眼による観察結果を削除してしまう記載の書き換えは不適切である。	
このご指摘に対して、10月30日の審査会合において記載の変更に至った経緯や理由などの説明を行い、審査を継続していただくことになりました。	
また、本件に関する原因調査分析に係る公開会合が11月30日に行われ、当社は柱状図作成の業務フローや原因分析、改善状況などの全体像がわかる資料を作成し、これらの資料を基に説明を行いました。	
当社は、皆さまに大変なご心配をお掛けしていることを深くお詫び申し上げるとともに、審査会合でいただいたご指摘を踏まえ、引き続きしっかりと審査に対応してまいります。あわせて原因調査分析に係る検査（品質保証に関する検査）についても真摯に誠実に対応してまいります。	

2. 敦賀発電所3, 4号機準備工事の状況 (2020年12月1日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



建設予定地の状況（2020年11月26日撮影）▶

3. トピックス

(1) 敦賀発電所 地震・津波を想定した避難訓練を実施

11月5日の「津波防災の日」※の趣旨を踏まえ、11月19日、敦賀発電所において地震・津波を想定した訓練を実施しました。今回の訓練では、地震・津波が発生している状況で、所員の避難・安否確認ができること、シェイクアウト（机の下などに入り、頭部を守り、動かない状態を約1分間維持する安全確保行動）ができていないこと、避難指示に従い速やかに避難できること、事故拡大防止のための戦略検討・立案ができることなどを確認しました。

当社は、継続的に訓練を行い、所員一人ひとりの地震・津波に対する日ごろからの「備え」と防災意識の高揚ならびに防災力向上に努めてまいります。

※ 2011年6月に制定された「津波対策の推進に関する法律」にて、国民の間に広く津波対策についての理解と関心を深めるため11月5日が「津波防災の日」と定められており、この「津波防災の日」においては、国および地方公共団体は、その趣旨にふさわしい行事が実施されるよう努めることとされています。

(2) 敦賀発電所および美浜原子力緊急事態支援センターが防災訓練を実施

11月14日、当社は、同日に行われた福井県総合防災訓練に合わせて、敦賀発電所、本店（東京）、美浜原子力緊急事態支援センターにて原子力防災訓練を行いました。

地震発生後に敦賀発電所および本店は災害対策本部を立ち上げ、本店からの支援要請を受けた美浜原子力緊急事態支援センターは、土砂崩れで通行できなくなった西浦県道（敦賀発電所へのアクセスルート）を模擬した敦賀市栗野スポーツセンター（福井県総合防災訓練の会場）に出動し、重機による瓦礫・土砂の撤去などの現場対応能力を確認しました。

当社は、今後も万が一の事態に備えて、継続的に訓練を行ってまいります。



重機による瓦礫・土砂撤去訓練の様子

(3) 県内各機関へのクリアランスベンチ設置

原子力発電所の解体などで発生する放射性廃棄物（金属など）について、放射能レベルが極めて低いものを再利用または一般の産業廃棄物として処分できることをクリアランス制度といいます。クリアランス制度によるリサイクルは、地球環境に配慮した循環型社会の形成に寄与します。

福井県が策定した「嶺南Eコースト計画」においても「クリアランス制度の社会定着に向けた理解促進活動」を推進しており、この取組みの一環として福井工業大学、日本原子力研究開発機構および若狭湾エネルギー研究センターからご理解・ご協力を賜り、当社の東海発電所から発生したクリアランス金属で作製したクリアランスベンチおよびクリアランス制度紹介パネルを、10月19日に福井工業大学福井キャンパス、23日に日本原子力研究開発機構アトムプラザ、11月16日に若狭湾エネルギー研究センターに設置しました。

当社は、これからもクリアランス制度に対する県民の皆さまの理解促進に努めてまいります。



このベンチは、新たに制定されたクリアランス制度に基づき、東海発電所の廃止措置で発生した撤去物（炭素鋼）を原料に用い、再生加工したものです。東海発電所

福井工業大学福井キャンパスに設置したクリアランスベンチ（写真上）とクリアランスベンチに取り付けられた紹介プレート（写真下）

(4) 若狭湾エネルギー研究センター企業PRブースに出展

11月16日、若狭湾エネルギー研究センター施設内に「企業PRブース」が新設されました。

当社は、敦賀発電所1号機の廃止措置などについて紹介したパネルを展示し、配布用のパンフレットを設置しました。若狭湾エネルギー研究センターにお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

若狭湾エネルギー研究センター
当社PRブース ▶



4. コミュニケーション活動

(1) げんでんアドバイザー懇談会※を実施

今年度の第1回げんでんアドバイザー懇談会を、10月28日に福井地区、29日に敦賀地区で開催し、当社から「事業運営状況」、「原子力事故時の地域防災」、「敦賀発電所2号機の安全審査の状況」についてご説明しました。

アドバイザーの皆さまからは、防災訓練や敷地内破砕帯などについてご質問をいただき、意見交換を行いました。

アドバイザーの任期は通常1年ですが、今回は新型コロナウイルスの影響により開催時期を遅らせたため、2022年3月までとさせていただきます。その間、原子力関連施設の見学や懇談会に参加していただき、コミュニケーションを深めるよう努めてまいります。



敦賀地区懇談会の様子



福井地区懇談会の様子

※当社は、地域の皆さまとのコミュニケーション活動を通じ、その中でいただいた貴重なご意見を事業運営に活かしていく取組みを進めています。この取組みの一つとして、各種団体からメンバー選出いただいた方による「げんでんアドバイザー懇談会」を実施しています。

(2) 訪問対話活動を実施

当社では、社員が地域の皆さまのお宅を訪問し、直接ご意見をいただく「訪問対話活動」を定期的に行っていますが、今年は新型コロナウイルスの影響により、敦賀市内全戸への訪問を控え、敦賀市、美浜町、若狭町、越前町、南越前町の区長さま（450名）のみへの訪問とし、活動中です。敦賀市内の皆さまには11月16日に「こんにちは！げんでんです」を新聞折込みにてお届けしました。アンケートハガキでご意見などをお寄せいただけましたら幸いです。

当社は、今後も安全最優先でコロナ感染拡大防止に努めながら、地域の皆さまとのコミュニケーションを深める活動に取り組んでまいります。



区長さまへの説明の様子

5. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ

敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで公開コースを開催しています。以下は申込み期限間近となっているコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細、応募方法は、QRコードまたは下記のURLから当社ホームページをご覧ください。なお、当面の間、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から、福井県以外の地域からの受講申込みをお断りしています。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

☞ <http://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html>



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください



敦賀総合研修センター

研修名	研修概要	研修期間	申込期限
原子力エネルギーコース	エネルギー資源を海外に頼っている我が国の現状を理解し、福島第一原子力発電所の事故後の地球温暖化への対応を含めた我が国のエネルギー政策について学びます。	2021年 1月15日	2020年 12月7日
原子力入門コース	原子炉での核分裂など原子力発電の基本的原理を理解するとともに、原子力発電所で使われる代表的な機械設備と電気設備の概要などを学びます。核分裂や連鎖反応など、原子力発電の概念を学びたい方にお勧めします。	2021年 1月19日 ～20日	2020年 12月10日
ヒューマンファクターコース	人間の特性を知り、仕事の中でのエラーを防ぐ対策を講じることが大事です。本研修ではヒューマンファクターの基礎知識（人間の基本特性や集団特性など）を理解するとともに、現場作業時のヒューマンエラーの防止方策を学びます。 ヒューマンエラーとは人に起因する誤りのことであり、人為ミスとも呼ばれます。誰もが起こす可能性があるヒューマンエラーの防止方策を学ぶことはとても有益です。広く一般の方にもお勧めします。（2日間コースですが、1日単位の受講も可能です）	2021年1月 25日 （基礎） 26日 （管理・事例）	2020年 12月16日
安全文化コース	原子力産業界が取り組んでいる安全確保を最優先とする安全文化の醸成について、企業倫理・技術者倫理や不祥事・トラブル事例などを題材として学びます。 原子力利用に携わるすべての組織の方はもちろんのこと、企業による不祥事やトラブル事例が後を絶たない昨今の国内外事情に鑑みて、一般の方の受講もお勧めします。	2021年 1月28日 ～29日	2020年 12月21日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市沓見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（応募申込専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp